

『地域避難施設』

出題者：甲村健一

避難施設とは「普段は学校や公園・地区センターなどの用途で使われている施設を、ある地震や水害などの災害が起きた際に近隣住民の避難施設として利用する」という形態がとられているが、この利用形態についてよくよく考えてみると、とても特異な形態をしているように思えた。

例えば、ひとつの建物の中に複数の用途をもった複合施設とは異なるし、利用目的に合わせてカスタムできる体育館やホールとも少し違うような気がする。

「非常事態といういつ何時起こるとも分からないことをきっかけとして、いつでも用途を切り替えたり、複合でできる状態でスタンバイしている施設」であるということは、その施設が普段学校として使われている場合でいえば「常に学校かつ常に避難施設」の状態にある施設であるといえる。

仮にこの利用形態に名前を付けるならば、複合施設をもじって「重複施設」とでもいえるのではないだろうか。

さらに特異といえることは、ここで重複しているものが「日常」の生活と、「非日常」的な非常事態であるということである。

「日常」と「非日常」との「重複施設」、と言うキーワードをもとに何か新しい建築ができるのではないかと、という期待を込めて本課題を出題する。

「課題内容」

- ・ 収容規模：収容人数は最低 50 人～数千人まで、各自の敷地に合わせて設定すること。
- ・ 用途：普段は別の用途として利用ができ、緊急時には避難施設として使える建物とする。
普段の用途は公共性の高い用途であれば何でも構わないので、各自で設定した敷地周辺の状況に合わせて自由に設定すること。 ※ただし公園や広場のみの計画は不可（建築設計の課題の為）。
- ・ 敷地：範囲は愛知県内とし、都市部・郊外・山間部など地域を問わない。
敷地はその地域の特性を踏まえて避難に適していると考えられる場所であればどこでも構わない。
- ・ その他：本来避難施設は法律によって安全性や衛生基準などが細かく定められているが、本課題ではそれらは無視できるものとし、常識的に考えられる程度の性能を与えるものとする。

「提出物」

- ① プレゼンシート：A1用紙 2～3枚程度を必須とする。

模型写真(模型)・CG(パースも可)、ダイアグラムなどのイメージを伝えるものは必須。

図面は下記の②での提出を基本とし、プレゼンシートに図面を書き込むかどうかは

プレゼン方法に合わせて各自で自由に設定すること。

- ② 図面一式：A3用紙 枚数は自由

配置図、平面図、断面図、立面図(断面図と立面図は各1面以上)

(図面の縮尺・範囲等は、各自の計画規模や内容に合わせて調整すること。)

設計主旨・コンセプト文は1000文字以上2000文字以下

「評価項目」

- ・上記提出物の他、プレゼカ(説明力)も評価の対象とする。
- ・発表時間は各自4分間(時間厳守)とし、いかに自分の設計主旨を伝えられるかを評価対象とする。